



自衛隊栃木地方協力本部

2000個のキャンドル灯る幻想的な冬の夜 『かみのかわキャンドルナイト』で自衛隊広報展を出展



2千個のLEDキャンドル等で灯された会場



車両もクリスマス装飾で可愛らしく



冬イベントで交流ができました！



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、宇都宮募集案内所（所長 大橋二陸尉）及び真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）の2コ事務所が連携し、11月2日（土）、上三川町役場駐車場で開催された『かみのかわキャンドルナイト』（上三川町商工会女性部主催）で自衛隊広報展を出展した。

同イベントでは、昼間はストリートサッカーやキッズダンスなどのプレイイベント、夜間には町内の小学生や地域住民が描いた絵を筒状にしてロウソクに見立てたLEDキャンドル約2000個やキャンドルタワーが灯され、クリスマスシーズンに合わせて電飾した樹木を背景に、冬の幻想的な雰囲気に包まれた会場には約1万人の来場者で賑わった。

本広報展は、イベント開催が減少する冬期に自衛官募集をPRする機会として、栃木県自衛官募集相談員連絡会宇都宮支部の野中和子氏の協力で実現し、会場のクリスマスイルミネーションに合わせて広報ブースや車両をクリスマス仕様で装飾し、1/2トラック、タペストリー展示のほか制服試着等を行った。来場者は「幻想的なイルミネーションイベントと自衛隊の組み合わせは意外でした（笑）。クリスマス装飾された自衛隊車両は可愛らしく見えますね！」と話すなど陸海空の制服試着撮影や車両試乗を楽しんでいた。

両募集案内所は「栃木地本は、オール栃木作戦を推進しており、募集状況を踏まえて各事務所等担当地域を撤廃した活動を強化しており、今回の広報展はその一環となる。自治体・各事業所等ではコロナ禍以降、地域交流や観光促進を図るため新たなイベント開催に積極的に取り組んでいるので、今後も、アンテナを張り、協力者等から得た情報は有効に活用させて頂き、新たな募集広報活動の場を開拓することに一層尽力していきたい」としている。

隊友会佐野支部部隊研修

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村一空尉）は12月5日（火）、宇都宮駐屯地で実施された隊友会佐野支部27名の部隊研修支援を行った。

研修は、駐屯地の概要説明から始まり、防衛資料館見学、体験喫食及び展示車両見学が行われた。有意義な研修内容に、「我が国を取りまく安全保障環境を再確認する非常に良い機会となりました。すこく勉強になりました」と隊員に大変貴重な経験をありがとうございましたと隊員に感謝する場面もみられた。また、本研修後、栃木県隊友会佐野支部長、武井朝男（たけい ともお）氏より、「今後とも、自衛隊と隊友会の団結を深め、地域の皆様から、より一層のご理解をいただけるよう努力していきたい」との言葉をいただいた。

足利地域事務所は「今後も、隊友会を含む協力団体との関係をより向上させ、協力関係及び信頼関係の強化を図っていく。」としている。



概要説明風景



展示車両見学